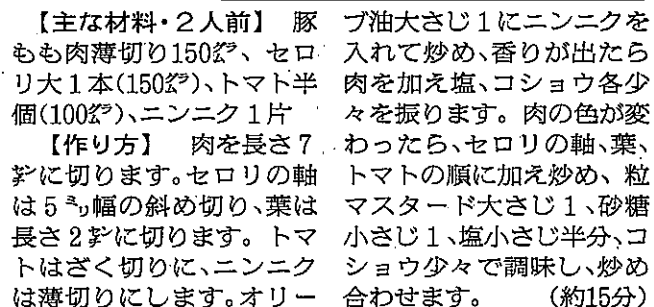




ウオーキングのグループに参加するようになって、2年ほどになる。寒い日も暑い日も歩く。今年の夏も、白い空気をとおして太陽の光が痛いほど差し込んでくる。照り返しも強い。

しばらく歩くと、玉のような汗が滝となり、夕立にでもあったような状態になって足が止まる。休憩だ。

その時、近くにコンビニがあると、たちまちすごいことになる。平均年齢70歳のジジ・ババ軍団がアイス売り場に殺到。その列は、そのまま会計に移動する。皆、手に手にアイスキャンデーの「ガリガリ君」を一本握りしめて。そして、この世にこれほどうまいものがあるだろうかと思っほどの甘露を味わう。

ところが時々、このガリガリ君をおいていない店がある。その時のがっかり具合はものすごい。幹事は「下見の時にしておくよう依頼した」とウオールカーたちの厳しく、悲しい目に訴える。

そんなこんなで一時が楽しく過ぎ、
10^時から15^時ほどのウォーキングが終
わる。